



WWFジャパン 省エネルギーシナリオ発表会

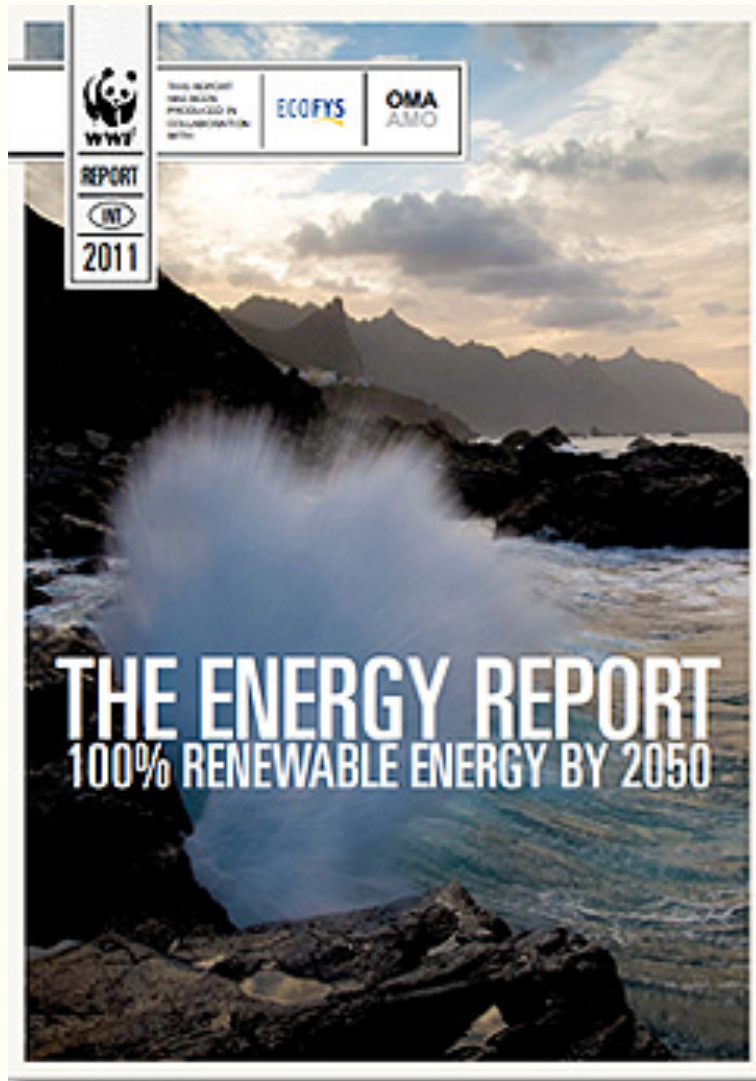
今夏にとどまらない 中長期の 省エネルギーへ 向けて

WWFジャパン
気候変動・エネルギーグループ
リーダー
山岸 尚之

2011年7月22日(金)
航空会館 501・502

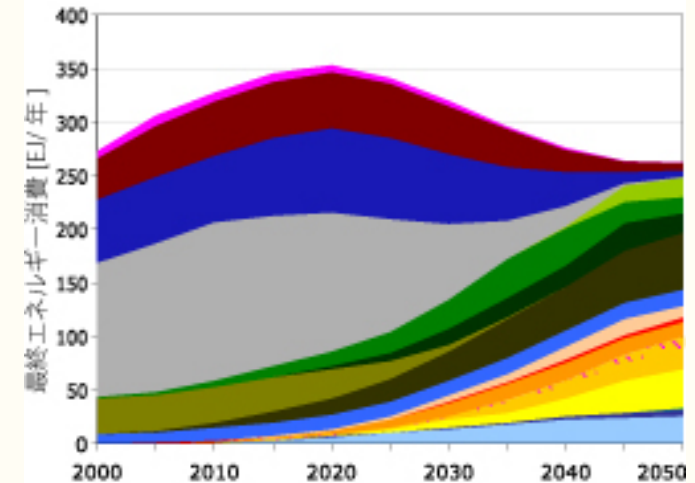


世界全体で考えれば、 自然エネルギー100%は可能



世界のエネルギー供給内訳

(エコフィス・シナリオによる)



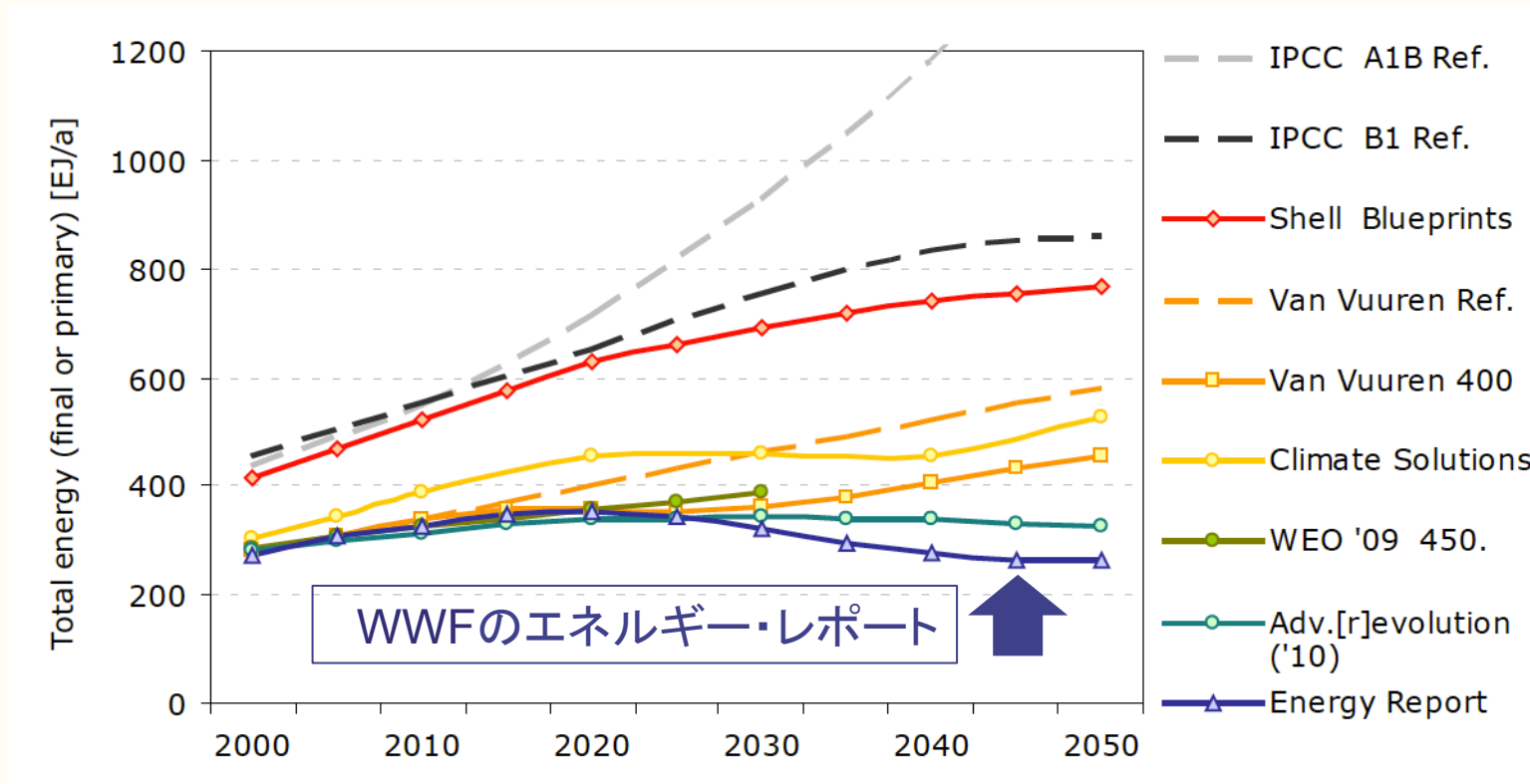
- | | |
|------------------|----------------|
| ■ 原子力 | ■ 地熱 (熱利用) |
| ■ 石炭 | ■ 地熱発電 |
| ■ 天然ガス | ■ 太陽熱 (熱利用) |
| ■ 石油 | ■ 集光型太陽熱 (熱利用) |
| ■ バイオマス (藻類) | ■ 集光型太陽光発電 |
| ■ バイオマス (穀物) | ■ 太陽光発電 |
| ■ バイオマス (間伐材) | ■ 波力・潮力発電 |
| ■ バイオマス (旧来型) | ■ 風力発電 (洋上) |
| ■ バイオマス (残渣・廃棄物) | ■ 風力発電 (陸上) |
| ■ 水力発電 | |

出典：The Energy Report - 100% Renewable Energy By 2050



省エネルギーが「鍵」を握る

既存のグローバル・シナリオのエネルギー消費量予測の比較

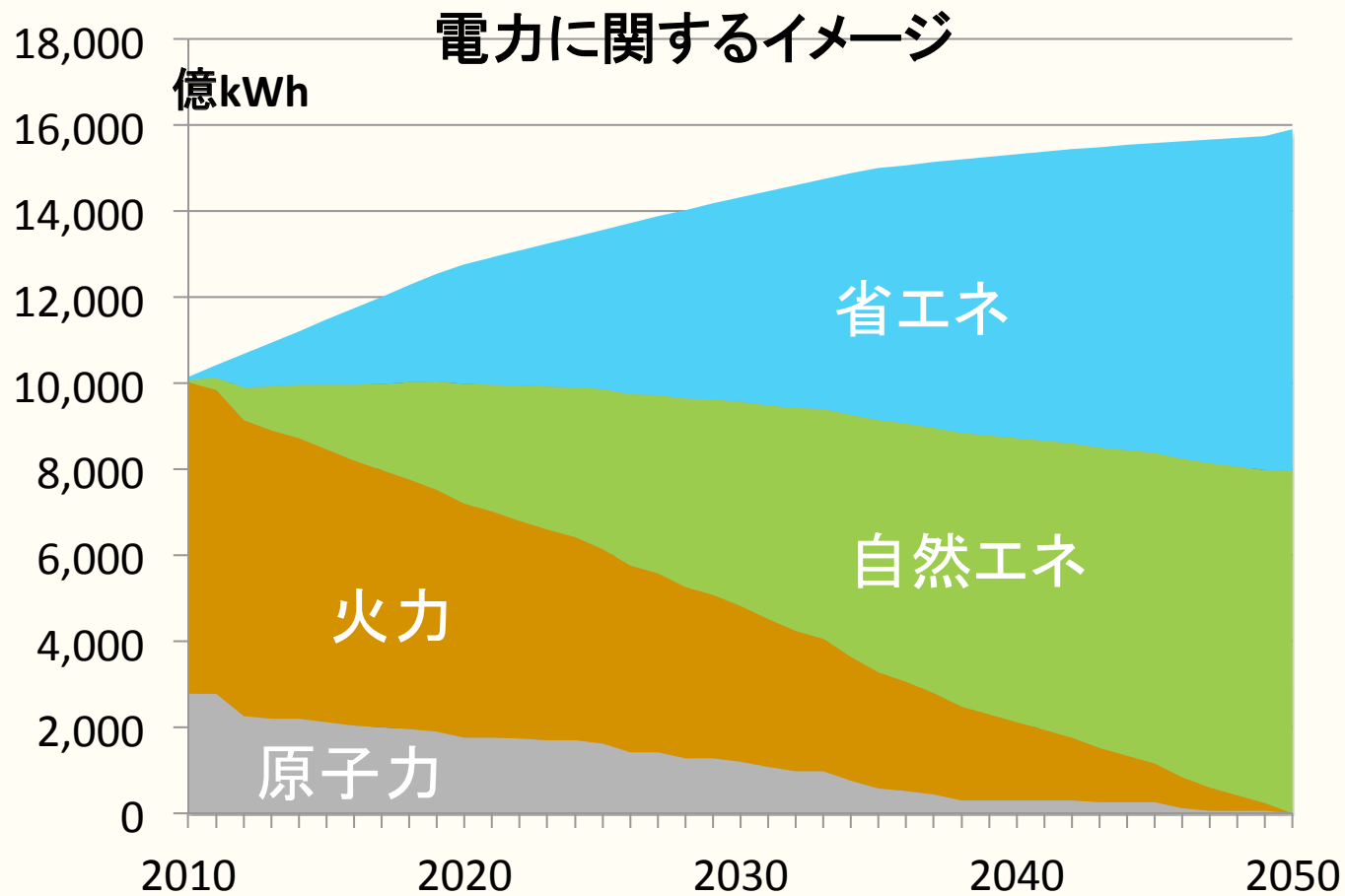


これまでのどのシナリオよりも大規模なエネルギー消費の削減を見込んでいる



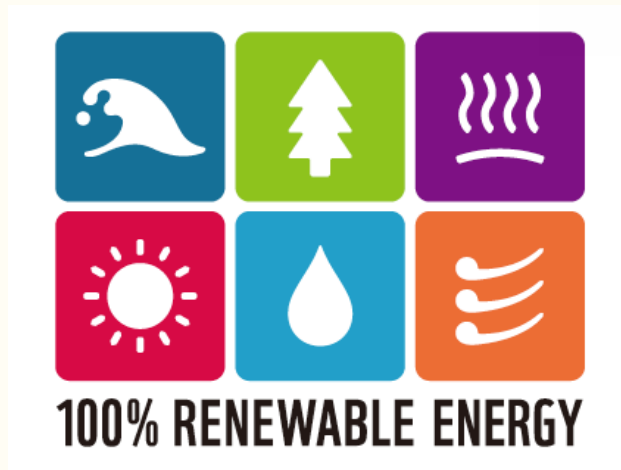
日本では？

1. 100%自然エネルギー
2. 大規模な省エネ
3. 原発の段階的な廃止





「自然エネルギー100%キャンペーン」



エネルギーシナリオ作成

政策提言

企業とのパートナーシップ

市民への働きかけ

「脱炭素社会に向けたエネルギーシナリオ提案」

■中間報告(今回・7月)

- 需要側シナリオ
- 中長期の省エネルギーの可能性

■最終報告(次回・11月)

- 供給側も含めたシナリオ
- 中長期での自然エネルギー中心の社会の可能性





「節電ブーム」からの飛翔は可能か？



5つの「+α」

1. 「ピークシフト」+「総量」
2. 「電気」+「それ以外のエネルギー」
3. 「意外と大丈夫」+「慣習化・制度化」
4. 「急いで集めたデータ」+「整備」
5. 「緊急対策」+「将来を見据えた対策」



政策や実践に

LED電球販売 白熱球を上回る

節電効果で注目を集めるLED（発光ダイオード）電球の販売数が6月、初めて白熱電球を上回った。調査会社GfKジャパンが全国4千の家電量販店を調べた。「大震災による節電意識の高まりが消費傾向を変えた」とみている。

電球販売を種類別で見ると5月が白熱43.0%、LED37.2%だったのに対し、6月はLED43.5%、白熱38.2%だった。

2009年7月ごろから出回り始めたLED電球は消費電力が小さく長持ちもする。ただし割高なのが敬遠され、昨夏以降は20%前後で推移していた。東日本大震災の後、停電を経験した関東地区を中心に売れ行きが加速し、販売数が2倍以上に増えたという。

節電意識追い風
震災後売れ行き2倍超

(出所) 朝日新聞7月6日